

経カテーテル大動脈弁留置術後の非重症弁周囲逆流が術後経過に与える影響に関する研究

1. 研究の対象

2021年12月8日～2023年10月4日に秋田大学医学部附属病院で経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)を受けられた方

2. 研究目的・方法

TAVI後に生じる人工弁周囲の逆流によって心臓に負荷がかかり、術後に呼吸苦や浮腫等といった心不全症状を引き起こすことがあります。重症の弁周囲逆流だけでなく、非重症であっても術後経過に影響を及ぼす可能性があります。どのような患者様が人工弁周囲逆流の影響を受けやすいのか解析し、術後早期からの対応を可能にすることを目的とします。

非重症の弁周囲逆流が残った患者様において、退院時のNT-proBNP(心臓の負荷を示す血液検査の指標)が上昇してしまった群、低下した群があることに注目し、それぞれの群の特徴の比較、NT-proBNPの上昇に寄与する要因を解析します。手術前後の心臓超音波検査、カテーテル検査、血液検査のデータを収集し、解析に用います。(後ろ向き観察研究です。)

研究実施期間：研究実施許可日～2027年3月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026年3月2日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、内服歴、経胸壁心臓超音波検査の計測値、術中カテーテル検査の計測値、手術入院時に採取された血液検査データ等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田県秋田市本道1丁目1の1

秋田大学大学院医学系研究科循環器内科学講座

医員(大学院生) 高橋 潤 (研究責任者)

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀨 友則